

## 国語科(書写)調査資料 作成の観点

項 目	観 点	
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり	<p>○点画、文字の大きさや配列、書く速さなどに注意して書く能力を育成するために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○毛筆で、点画の書き方や筆圧に注意したり穂先の動きと点画のつながりを意識したりして書く能力を育成するために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるために、どのような工夫が見られるか。</p>	
特 色	内 容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</p> <p>○書写の基礎的・基本的な知識・技能を習得させるために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等の育成する工夫&gt;</p> <p>○児童の生活や学習活動において、目的に応じて文字を書く学習について、どのような工夫が見られるか。</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む工夫&gt;</p> <p>○児童が主体的に学習に取り組むようにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</p> <p>○硬筆と毛筆との関連を図った学習について、どのような工夫が見られるか。</p> <p>○季節や行事との関連や、豊かな人間性の育成の点で、教材の選定にどのような工夫が見られるか。</p>
	資 料	<p>○学習効果を高めるために、資料の内容にはどのような工夫が見られるか。</p> <p>○挿絵・写真・図表等、資料の配置や手本との関連にはどのような工夫が見られるか。</p>
	表 記・表 現	<p>○用具・記号などの使い方にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○教材の内容や解説・説明の仕方について、児童の言語能力の発達段階に応じてどのような工夫が見られるか。</p>
総 括	(全体的な特徴、その他)	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;">新編 新しい 書写</p> <p style="text-align: right;">東京書籍</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毛筆教材は、いくつかの硬筆文字から導入し、原理や原則の一般化により、日常生活や学習活動に生かせるようにしている。</li> <li>○1・2年の硬筆では、字形や筆順を、外形、数字、矢印で示している。3～6年の毛筆では、穂先の動きや点画のつながりを写真で示している。</li> <li>○書き初めや、古文、百人一首のなぞり書き、身の回りの石碑の文字などを学年に応じて取り上げ、伝統的な言語文化との関連を図っている。</li> </ul>
<p>特 内 容</p>	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全学年で基本点画の説明がマークで示され、毛筆練習では点画のつながりを考えられる手本を用意している。</li> <li>○学年に応じて、字を書く姿勢や、筆の持ち方などの基礎的な内容が確認できるように、写真で大きく示している。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○3年以上の単元の「たしかめよう」では、大切な部分を朱書きで示している。</li> <li>○単元の始めに「調べよう」があり、考える課題が示されていて、キャラクターの吹き出しを課題解決の手がかりとしている。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○3年以上では単元ごとに「調べよう」「たしかめよう」「広げよう」の印をつけて、学習の流れを明確にしている。</li> <li>○単元ごとの学習の振り返りが、1・2年ではシールを貼ったり、3年以上では○△を囲んだり自己評価できるようにしている。</li> </ul> <p>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○横書きのノートや手紙、新聞の書き方が具体的に提示し、他教科とのつながりも示している。</li> <li>○「書いて味わおう」というはうたや俳句、百人一首など発達の段階に応じて馴染めるようななぞり書きをする教材を設けている。</li> <li>○硬筆と毛筆との関連を図り「広げよう」で書き込みができるようにしている。</li> </ul>
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○姿勢や用具の持ち方・扱い方を、写真、挿絵、言葉で最初のページに掲載している。また、実物大で手の位置を示したり、合い言葉を示したりしている。</li> <li>○「付録」があり、そこには「書いて味わおう」という伝統的な言語文化に触れる教材や文字や用具の作り方など、様々な資料を示している。</li> </ul>
<p>表 記 ・ 表 現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目次やタイトルの下に、その時間に学習するポイントを示している。また、全学年共通のキャラクターが書写学習の道案内をしている。</li> <li>○毛筆の点画を書くポイントとして「トン」「スー」「ピタッ」などの擬音語を用いている。また、穂先の通り道が分かるように、朱墨を使っている。</li> </ul>
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年以上は、「調べよう」「確かめよう」「広げよう」「生活に広げよう」の4段階の学習の手引きを設け、主体的に学習が進められるよう意図している。</li> <li>○既習事項が確認できるインデックスをつけている。</li> <li>○1・2年にはシールが付いており、自己評価や学習したポイントなどに活用することで、意欲化を図っている。6年には、中学校で習う行書について掲載し、興味や見通しをもって学習できるようにしている。</li> </ul>

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;">みんなと学ぶ 小学校書写</p> <p style="text-align: right;">学校図書</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり</p>	<p>○1・2年では、「姿勢」「筆記具の持ち方」を巻頭の見開きで示している。5・6年では、「目的に応じた書き方」や「筆記具の選び方」を取り上げ、書写で学んだ内容を日常生活に生かせるようにしている。</p> <p>○全学年で、教材の最後に自己評価の観点を示し、評価欄を設けている。</p> <p>○書き初めや、平仮名のでき方、行書などを学年に応じて取り上げ、伝統的な言語文化との関連を図るとともに、書写への関心を高めている。</p>	
<p>特 色</p>	<p>内 容</p>	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</p> <p>○新出の文字にすべて筆順が示され、点画の特徴を強調して示している。</p> <p>○毛筆の技能が視覚的に捉えられるように、朱墨を用い穂先の通り道を示したり、筆の流れを矢印で示したりしている。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <p>○児童の思考、判断を促し表現力の育成を助けるために、キャラクターの吹き出しを使って学習要素に迫るポイントを説明している。</p> <p>○自分の課題解決に向かって、練習方法を工夫する活動を設けたり、学習の内容を振り返るページを示したりしている。</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <p>○見通しをもって学習できるように、1・2年では「しよしゃのがくしゅうのしかた」、3年以上では「毛筆学習の進め方」を示している。</p> <p>○めあてを意識させて自己評価できるように、「学習を振り返ろう」の欄を示している。</p> <p>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</p> <p>○毛筆の筆使いを想起しながら硬筆の学習ができるように、書き込めるスペースを設けている。</p> <p>○「硬筆に生かそう」では、文語詩、俳句、短歌など他教科や日常生活の中で実際に活用するための具体例を示している。</p> <p>○6年の発展ページでは、中学校で習う「行書」の特徴を示している。</p>
	<p>資 料</p>	<p>○姿勢や用具の持ち方や扱い方を、巻頭の折り込みに写真と解説を付けて掲載している。1・2年には、書く準備を歌にして、イラストと共に示している。</p> <p>○毛筆教材では、半紙原寸大の手本もあり、視覚的にとらえられるようにしている。また、書写への興味を高めるような資料を各学年に合わせて掲載している。</p>
	<p>表記・表現</p>	<p>○学習のポイントが分かりやすいように、キャラクターの吹き出しで示したり、その部分を取り出して拡大したりして示している。</p> <p>○毛筆の筆使いが分かりやすいように、実際に筆を動かしている連続写真を穂先に朱墨を付けて書いた手本を掲載している。</p>
<p>総 括</p>	<p>○単元の始まりに、「書写の学習の仕方」「毛筆の学習の進め方」が掲載されており、主体的に書写の学習ができるよう意図している。また「硬筆に生かそう」を設定し、硬筆と毛筆の関連を図りながら学習できるようにしている。</p> <p>○新出漢字が、ページの下に書き順と共に掲載してあり、特に、1・2年は書き順が分かりやすいように色をつけるなど、漢字学習にもつながるようになっている。</p> <p>○自己評価にシールを活用している。</p>	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;">小学生の書写</p> <p style="text-align: right;">三省堂</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり</p>	<p>○3～6年では、学習内容を硬筆で学び、毛筆で確かめてから、さらに他の文字や文章を硬筆で書いて確かめる構成としている。</p> <p>○3・4年では、始筆の穂先の位置が時計の文字盤を使って解説されている。基本的な点画の書き方は、穂先の動きや筆圧が分かるように朱墨を使って示している。</p> <p>○全学年で、手紙やはがきの書き方を取り扱い、日常生活に生かしている。また、全学年で書き初めを取り上げ、伝統的な言語文化との関連を図っている。</p>
<p>特 内 容</p>	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</p> <p>○3・4年生では2色の淡墨図を用いて、穂先の向きや通り道がわかりやすいように示している。</p> <p>○学習したことを硬筆で直接書きこめるマスや行、枠を設定し、練習することができるようにしている。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <p>○単元の導入では「考えよう」で比較させ、考える活動を示している。</p> <p>○筆の向きを時計の方向で示し、点画の書き方を詳しく説明している。</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <p>○5・6年では「考えよう」→「書いて確かめよう」→「確かめ合おう」と学習の仕組みが統一されて学習できるように設定している。</p> <p>○「たしかめよう」や「確かめ合おう」では、学習を振り返って、自己評価の欄に印をつけるようにしている。</p> <p>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</p> <p>○発展として、6年では中学校で学習する「行書」を取り上げ、「楷書」の良さと「行書」の良さを紹介している。</p> <p>○書写に興味や関心をもてるように、毛筆用具の紹介や古来から書かれている書物の紹介、文字の由来などを取り上げ、伝統的な言語文化との関連も図っている。</p>
<p>資 料</p>	<p>○姿勢や用具の持ち方・扱い方が、巻頭の折り込みにイラストと言葉で掲載している。</p> <p>1・2年には、「姿勢の合い言葉」がイラストと共に示している。</p> <p>○巻頭や巻末に、書写の興味や関心を高めるような資料や書字場面が各学年に応じて掲載している。また、前学年と現学年で習う漢字も掲載している。</p>
<p>表 記 ・ 表 現</p>	<p>○手本の前ページに、気を付けて書くポイントを示している。また、穂先の向きや通り道が分かるように、イラストや朱墨を使って書いた手本も示している。</p> <p>○1・2年の書き方のポイントは、拡大したり色分けされた図形を使ったりして示し、練習できるスペースを多く取っている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○各学年の単元の終わりには、「学習を生かそう」「ひろげよう」を設定している。「ひろげよう」では、実生活や他教科に関連させた教材を各学年に応じて提示している。</p> <p>○5・6年では、目次に「学習の仕組み」として「考えよう」「書いて確かめよう」「毛筆で確かめよう」「確かめ合おう」を掲載し、主体的に学べるようになっていく。</p> <p>○6年は、中学校に向けての「発展」の教材も示している。</p>

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;">小学 書写</p> <p style="text-align: right;">教育出版</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり</p>	<p>○4～6年では、課題を設定して解決する「学習の進め方」を7～8段階で示している。また、全学年で、教材の最後に自己評価の観点を示し、評価欄を設けている。</p> <p>○全学年で「横書きの書き方」を扱い、「算数で生かす」「理科で生かす」などの項目を設定し、目的に合わせた書き方を学べるようにしている。</p> <p>○短歌や俳句、古典などの発展教材や資料を学年に応じて掲載し、伝統的な言語文化との関連を図るとともに、書写への関心を高めている。</p>
<p>特 色</p> <p>内 容</p> <p>資 料</p> <p>表 記・表 現</p>	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</p> <p>○学習した内容を系統的かつ繰り返し学べるように、点画の種類や「前学年のまとめ」、「学年のまとめ」を設けている。</p> <p>○毛筆の技能が視覚的に捉えられるように、2色の淡墨図を用い穂先の通り道を示したり、筆使いのポイントを連続の拡大図で示したりしている。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <p>○3年以上では児童が自分の課題に気付けるように、「考えよう」において問いかけ文を示して、教材文字とためし書きを比較させようとしている。</p> <p>○単元の目標が達成できるように、「ここが大切」では、ポイントを朱書きにしたり、枠で囲んだりしている。</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <p>○導入から振り返りまで見通しをもって学習できるように、3年以上では巻頭に「学習の進め方」を示している。</p> <p>○学習課題を自己評価できるように3年以上では3段階評価の「ふり返ろう」を設けている。</p> <p>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</p> <p>○毛筆学習が硬筆に生かされるように、毛筆学習の前後に硬筆で「ためし書き」「まとめ書き」欄を設けて学習の定着を図っている。</p> <p>○「知りたい文字の世界」や「はってん」では、伝統的な言語文化を取り入れたり、書写で学習したことを他教科でも生かしたりできるように示している。</p>
	<p>○姿勢や用具の持ち方や扱い方を、いつでも見られるように、各学年巻頭と裏表紙に写真と言葉で掲載している。</p> <p>○前学年、現学年で習う漢字を、50音順に色分けして、巻末の折込に掲載し、書き順や字形などをいつでも確認できるようにしている。</p>
	<p>○点画のつながりや字配りについて、点線や数字や大事なポイントが書かれた文字を色分けして示している。</p> <p>○書写の学習を身近に感じられるように、男の子、女の子、先生のキャラクターが大切なポイントを吹き出しの形で解説している。</p>
<p>総 括</p>	<p>○文字への興味・関心を高められるように、「知りたい文字の世界」で文字に関する様々な情報を示している。</p> <p>○学習したことを日常生活や他の教科・領域に生かせるように「トライあんどチャレンジ」の教材を示している。</p> <p>○各学年に「はってん」として、次学年以降で学習する内容にも触れており、他学年との関連性も示している。</p>

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;">書写</p> <p style="text-align: right;">光村図書出版</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導 要領の教科の目 標とのかかわり</p>	<p>○書写学習の基礎的・基本的な知識・技能が身に付くように、ねらいを確かめ、毛筆教材と同じ学習要素をもつ硬筆課題を設定している。</p> <p>○基本的な点画の書き方は、2色の淡墨を使って説明している。3・4年では、始筆・送筆・終筆の穂先の向きが分かるように穂先のマークを絵で示している。</p> <p>○全学年「資料」のページで、日常生活や学習に役立つ内容を設けている。6年では、発展的な学習内容を設け、中学校への接続を図るとともに書写への関心を高めている。</p>
<p>特 色</p> <p>内 容</p>	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</p> <p>○3年以上の毛筆教材では、筆の動きが分かりやすいように、2色の濃淡図を用いて示している。</p> <p>○「たいせつ」マークでは、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせるために基本点画の書き方のポイントを示している。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <p>○児童が考えて学習に取り組めるように、整った文字と整っていない文字などを示し、比較しながら学習できるような導入を行っている。</p> <p>○イラストやマーク、吹き出しを取り入れ、学習する際の注意点を視覚的に示している。</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <p>○学習成果を評価できるように「できたかな」や「ふり返ろう」の自己評価の欄が工夫している。</p> <p>○4年以上では、見通しをもって取り組めるように、「学習の進め方」で学習方法を示している。</p> <p>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</p> <p>○硬筆と毛筆の関連を図り「学習したことを生かして書こう」が用意され、書き込みができるようにしている。</p> <p>○硬筆学習で学んだことが、メモの取り方やパンフレットの書き方のように、国語の学習で生かせる内容を取り上げている。</p> <p>○他教科との関連を図った資料を示したり、興味・関心をもてるような話題として「もっと知りたい」を示したりしている。6年では、中学校との関連学習「行書」の課題も示している。</p>
<p>資 料</p>	<p>○姿勢や用具の持ち方や扱い方を、いつでも見られるように巻頭のページや折込に、大きめの写真や言葉で掲載している。</p> <p>○前学年・現学年の漢字を、いつでも確認できるように、巻末折込に掲載している。現学年の漢字については、毛筆書体も掲載している。</p>
<p>表 記・表 現</p>	<p>○良い例と悪い例を示し、「どちらだろうか」などの問題を投げかける表現を用い、考えさせることで、学習のポイントをとらえられるようにしている。</p> <p>○低学年の硬筆で、点画の特徴が捉えやすいように毛筆の書体を効果的に使っている。</p>
<p>総 括</p>	<p>○1～3学年では、巻頭に姿勢や用具の持ち方を示し、その習熟を徹底させるため、4～6学年では、巻頭に学習の進め方を示し、自ら学べるようにしている。</p> <p>○シールを貼ったり、書き込んだりして、作業をしながら書くポイントを理解できるようにしている。「理由も合わせて考えよう」などといった表記があり、国語との関連を意識したつくりになっている。</p> <p>○巻末に資料をまとめて掲載して、日常生活においても活用できるようにしている。</p>

<p>書名</p> <p>項目</p>	<p style="text-align: center;">小学書写</p> <p style="text-align: right;">日本文教出版</p>	
<p>教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり</p>	<p>○巻頭に、各学年の「学年のめあて」を提示している。各教材で「考える」「確かめる」「生かす」「ふりかえる」の学習過程を示している。</p> <p>○毛筆で学習したことを硬筆に生かせるように、各教材で「学習の進め方」を4段階で示し、見通しをもって学習に取り組めるようにしている。</p> <p>○3～6年では、硬筆教材として古典や行書、文学作品を扱い、伝統的な言語文化との関連を図るとともに、書写への関心を高めている。</p>	
<p>特 色</p>	<p>内 容</p>	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</p> <p>○4年以上では、「思い出して書こう」で既習の点画が説明され、筆使い、書き順、文字の形などが示している。</p> <p>○3年以上の「字形が整う3つのポイント」では、字形、筆順、組み立て方を繰り返し示している。</p> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <p>○単元のはじめに「考える」があり、考えさせる課題が示されていて、キャラクターの吹き出しになって意欲的に取り組めるようにしている。</p> <p>○4年以上は、めあてが達成できるように「ここがポイント」で手掛かりを示している。</p> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <p>○児童が主体的に学習に取り組めるように、「できたかな」には、思考、技能を評価する欄を設けている。</p> <p>○1・2年では、「かんがえる」「たしかめる」「かいてみる」、3年以上では、「考える」「たしかめる」「生かす」という学習の流れで統一している。</p> <p>&lt;国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てるための工夫&gt;</p> <p>○硬筆と毛筆との関連を図り「書こう」が用意され、書き込みができるように設定している。</p> <p>○「広がる学び」では、日記や手紙、横書きなどで、硬筆で学んだことが生かされるような具体例を示している。</p> <p>○「チャレンジ」では学年のまとめとしての教材を用意し、中学校との関連学習「行書」も5・6年で示している。</p>
<p>資 料</p>		<p>○姿勢や用具の持ち方や扱い方を、いつでも見られるように、最初のページに、書写に対する関心・意欲がもてる資料を掲載している。</p> <p>○字形や筆順をいつでも確認できるように、現学年で習う漢字とひらがなカタカナを巻末折り込みに掲載している。漢字については書き順を詳しく掲載している。</p>
<p>表記・表現</p>		<p>○手本の前ページに、朱墨の字、めあてを達成するためのポイント、漢字の筆順を細かく示し、児童が確認できるようにしている。</p> <p>○学習のめあてに沿ったポイントを、パンダのキャラクターを用いた吹き出しで示している。</p>
<p>総 括</p>		<p>○姿勢、点画の種類を巻頭に示し、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるようにしている。5・6年からは、「学習の進め方」を掲載し、自ら学習できるようにしている。</p> <p>○「広がる学び」や「もっと書こう」では、学んだことを日常生活や他教科領域で生かせるようにしている。</p> <p>○キャラクターの言葉には、目標を達成するためのヒントが含まれており、興味や関心をもって取り組めるようにしている。</p>

国語科（書写）調査資料2

○分量について

		東書	学図	三省堂	教出	光村	日文
1 総ページ数 ※表示された最終ページ	1年	41	41	40	45	39	40
	2年	41	41	40	41	37	40
	3年	49	49	44	59	55	52
	4年	49	45	44	57	49	52
	5年	49	45	44	49	47	52
	6年	49	41	44	49	49	52
	2 綴じ込み、巻末資料等の総ページ数 ※目次も含む。	1年	11	12	11	17	4
2年		12	13	9	20	10	14
3年		18	17	14	27	16	22
4年		18	15	14	27	18	22
5年		19	20	12	28	18	23
6年		19	15	17	30	22	27
3 単元数		1年	4	9	4	4	6
	2年	4	9	3	3	3	5
	3年	8	10	4	8	6	7
	4年	8	9	5	7	5	6
	5年	7	7	4	7	3	6
	6年	7	7	4	6	4	6

○領域別等の教材数等について

		東書	学図	三省堂	教出	光村	日文	
1 総教材数 ※本編中における主たる手本の数	1年	44	36	36	43	40	44	
	2年	36	38	36	54	36	41	
	3年	20	27	28	28	19	35	
	4年	19	23	31	29	23	29	
	5年	20	16	26	26	22	31	
	6年	19	17	27	15	22	24	
	2 手本の種別数	毛筆	1年	0	0	0	0	0
2年			0	0	0	0	0	0
3年			10	12	12	9	10	11
4年			10	8	13	10	9	9
5年			9	8	8	10	7	9
6年			8	10	9	9	7	8
硬筆			1年	44	36	36	43	40
		2年	36	38	36	54	36	41
		3年	10	15	16	19	9	24
		4年	9	15	18	19	14	20
		5年	11	8	18	16	15	22
		6年	11	7	18	6	15	16



教材の扱い種別数	3 硬筆と毛筆との関連を図った教材数	1年	0	0	0	0	0	0
		2年	0	0	0	0	0	0
		3年	7	8	11	7	8	7
		4年	7	7	12	7	8	5
		5年	6	2	6	7	4	6
		6年	5	4	6	5	4	5
	日常生活に役立てる視点に立った教材数	1年	2	2	2	2	2	4
		2年	3	2	3	3	2	5
		3年	3	4	3	5	3	3
		4年	5	4	3	4	3	4
		5年	5	4	4	6	5	4
		6年	6	2	5	4	5	4

### ○指導事項数について

		東書	学図	三省堂	教出	光村	日文
1 姿勢、用具の持ち方について	1年	8	6	4	8	6	8
	2年	8	7	4	8	6	9
	3年	12	14	17	9	10	10
	4年	12	12	10	10	10	10
	5年	12	7	8	8	9	9
	6年	11	7	8	8	9	9
2 筆順について	1年	27	27	23	28	28	27
	2年	26	24	26	32	18	29
	3年	23	12	9	20	16	15
	4年	15	14	10	20	14	18
	5年	11	13	4	16	12	18
	6年	11	12	9	19	8	14
3 文字の形、大きさについて	1年	19	17	22	21	21	20
	2年	21	21	18	20	17	19
	3年	22	20	16	21	16	20
	4年	20	18	18	20	17	21
	5年	20	17	18	21	19	20
	6年	22	14	19	13	21	16
4 配列・字配りについて	1年	0	0	0	0	0	0
	2年	0	0	0	0	0	0
	3年	2	1	0	3	2	2
	4年	3	1	1	3	4	3
	5年	3	4	2	6	3	6
	6年	3	6	2	10	5	6